

事 務 連 絡
令和4年1月25日

附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部を置く
各 国 立 大 学 法 人 担 当 課 御中

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局 幼 児 教 育 課
文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局 特 別 支 援 教 育 課
消 費 者 庁 消 費 者 安 全 課

附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部における事故の報告等及び
節分の豆等の食品による子どもの窒息事故の予防に向けた注意喚起について

学校事故の対応に関しては、平成28年3月31日付け27文科初第1785号「学校事故対応に関する指針」の公表について（通知）、平成28年12月21日付け28文科初第1261号「学校事故対応に関する指針」に基づく適切な事故対応の推進について（通知）、令和3年5月25日付け3文科教第218号「学校事故対応に関する指針」に基づく適切な事故対応について（通知）により、「学校事故対応に関する指針」（以下「指針」という。）に基づく事件・事故災害の未然防止とともに、事故発生時の適切な対応や事故発生後の速やかな調査・検証等の実施、同指針に関する理解の一層の深化をお願いしてきたところです。

また、同指針では、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン（平成28年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省）」（以下「ガイドライン」という。）が整備されていることから、事故が発生した際には、第一義的には、当該ガイドラインも参考にしつつ適切な対応を行うこととし、当該ガイドラインに記載のない対応については、同指針を参考とする旨が盛り込まれています。

このたび、附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部において事故が発生した場合の報告等の取り扱いとともに、節分の豆等の食品による子どもの窒息事故の予防に向けた注意喚起について、下記のとおりご連絡いたしますので、ご了知の上、所管の附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部に対し周知徹底いただくようお願いいたします。

記

1. 附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部における事故の報告等について

附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部において事故が発生した場合には、被害幼児の応急手当等を行うとともに、速やかに被害幼児の保護者、設置者等に連絡を行うこと。

このうち、重大事故については、事故の再発防止のための事後的な検証に資するよう、下記の（１）から（６）までに定めるところにより、今後、附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部の設置者を經由して文部科学省へ報告を行うこと。

(1) 報告の対象となる重大事故の範囲

- ・死亡事故
- ・治療に要する期間が 30 日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等（意識不明（人工呼吸器を付ける、I C Uに入る等）の事故を含み、意識不明の事故については その後の経過にかかわらず、事案が生じた時点で報告すること。）

(2) 報告様式

別紙のとおり

(3) 報告期限

文部科学省への第 1 報は原則事故発生当日（遅くとも事故発生翌日）、第 2 報は原則 1 か月以内程度とし、状況の変化や必要に応じて、追加の報告を行うこと。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、作成され次第報告すること。

(4) 報告のルート

附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部から設置者へ報告することとし、当該設置者は文部科学省へ報告を行うこと。

(5) 文部科学省の報告先

- ・附属幼稚園の教育活動中の事故の報告について
初等中等教育局 幼児教育課 企画係
T E L : 0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 （内線 3 1 3 6）
F A X : 0 3 - 6 7 3 4 - 3 7 3 6
E-mail: youji@mext.go.jp
- ・特別支援学校幼稚部の教育活動中の事故の報告について
初等中等教育局 特別支援教育課 指導係
T E L : 0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 （内線 3 7 1 6）
F A X : 0 3 - 6 7 3 4 - 3 7 3 7
E-mail: toku-sidou@mext.go.jp
- ・附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部への通園中や園における製品に関する事故、園の安全管理に関する事故の報告について
総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 学校安全係
T E L : 0 3 - 5 2 5 3 - 4 1 1 1 （内線 2 9 6 6）
F A X : 0 3 - 6 7 3 4 - 3 7 1 9
E-mail: anzen@mext.go.jp

※設置者から報告を受けた文部科学省が、内閣府とともに、消費者庁消費者安全課に報告（消費者安全法に基づく通知）を行うことになること。また、上記 1（1）に加えて、消費者安全法第 12 条第 2 項に基づき、文部科学省において、治療に要する期間が 1 日以上であるもの（通常医療施設における治療の必要がないと認められる軽度のものを除く。）が発生した旨の情報を得た場合であって、被害の拡大又は同種・類似のものが発生するおそれがあると認めるときは、消費者庁に報告を行うことになること。

(6) 公表等

附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部の設置者は、報告のあった事故について、類似事故の再発防止のため、事案に応じて公表を行うとともに、事故が発生した要因や再発防止策等について、設置する施設等へ情報提供すること。併せて、再発防止策についての好事例は文部科学省へ情報提供すること。なお、公表等に当たっては、保護者の意向や個人情報保護の観点に十分に配慮すること。

また、(5)により報告された情報については、全体として内閣府において集約の上、事故の再発防止に資すると認められる情報について、公表するものとする。

2. 節分の豆等の食品による子どもの窒息事故の予防に向けた注意喚起について

昨今、教育・保育施設において節分の豆等の食品を原因とした、誤嚥による子どもの死亡事例が複数発生した状況を踏まえ、消費者庁において注意喚起資料「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！－気管支炎や肺炎を起こすおそれも、硬い豆やナッツ類等は5歳以下の子どもには食べさせないで－」(別添①、②)を作成・公表しています。この中では、特に「豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないでください。」「節分の豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。」といった内容が盛り込まれています。

つきましては、各附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部において、食品の誤嚥による子どもの窒息事故の予防のために注意すべき事項について、上記消費者庁資料やガイドラインも参考に確認いただくとともに、教育や給食に従事する者をはじめ職員全員が情報を共有するなど、事故防止及び事故発生時の対応に万全を期すよう、お願いいたします。

(参考)

- ・「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！」(消費者庁)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_047/

- ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/data/index.html>

【本件連絡先】

- 附属幼稚園の教育活動中の事故について

文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課 企画係
TEL：03－5253－4111（内線3136）

- 特別支援学校幼稚部の教育活動中の事故について

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課 指導係
TEL：03－5253－4111（内線3716）

- 附属幼稚園又は特別支援学校幼稚部への通園中や園における製品に関する事故、園の安全管理に関する事故について

文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 学校安全係
TEL：03－5253－4111（内線2966）

- 別添①②の資料に関すること

消費者庁消費者安全課
TEL：03－3507－9200（直通）